

OTOWA カップ 第 28 回 関東女子ラグビーフットボール大会

Supported by アミノバイタル 大会実施要項 (一般の部)

1. 名 称 OTOWA カップ 第 28 回関東女子ラグビーフットボール大会

Supported by アミノバイタル (一般の部)

2. 趣 旨

- (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15 人制ラグビーのレベルアップを図る。
- (2) 第 4 回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。

3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会

4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会

5. 協 力 : 埼玉県ラグビーフットボール協会

6. 冠協賛 : 株式会社オトワ

7. 商品協賛 : 味の素(株)スポーツニュートリション部・アサヒ飲料(株)

8. 出場チーム

A: ウォリアーズ

(関東学院六浦高等学校・湘南ベルマーレ Bel17・世田谷区ラグビースクールレディース・BRAVE LOUVE・北海道バーバリアンズディアナ 合同チーム)

B: GRACE・Artemistars (RKU ラグビー龍ヶ崎 GRACE・横河武蔵野 Artemisters 合同チーム)

C: フェニクスペガサス 15 (東京フェニックス RC・千葉ペガサス 合同チーム)

D: 日本体育大学ラグビー部女子

E: TKM・ARUKAS

(戸塚共立メディカル女子ラグビー部 YOKOHAMA TKM・ARUKAS QUEEN KUMAGAYA WOMEN'S SEVENS R.F.C. 合同チーム)

9. 日程・組み合わせ・会場

(1) 1 月 14 日 (日) 熊谷ラグビー場 B グラウンド

12:00 ウォリアーズ 対 GRACE・Artemistars

14:00 フェニクスペガサス 15 対 日本体育大学ラグビー部女子

(2) 1 月 28 日 (日) 熊谷ラグビー場 B グラウンド

12:00 GRACE・Artemistars 対 フェニクスペガサス 15

14:00 日本体育大学ラグビー部女子 対 TKM・ARUKAS

- (3) 2月11日(日) 日本体育大学 健志台キャンパス ラグビー場
12:00 ウォリアーズ 対 日本体育大学ラグビー部女子
14:00 フェニクスペガサス 15 対 TKM・ARUKAS
- (4) 2月25日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
12:00 ウォリアーズ 対 TKM・ARUKAS
14:00 GRACE・Artemistars 対 日本体育大学ラグビー部女子
- (5) 3月4日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
12:00 ウォリアーズ 対 フェニクスペガサス 15
14:00 GRACE・Artemistars 対 TKM・ARUKAS
- (6) 3月11日(日) 予備日 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

10. 参加資格

(1) チームについて

関東ラグビーフットボール協会に登録しているチームであること。

(2) 選手について

- 関東ラグビーフットボール協会に登録している満18歳以上の女子選手。
- 18歳で高校在学中の選手は、「特段の健康上の問題はない」旨の医師による「健康診断書」、および本要項に添付した所定の「保護者承諾書」を提出した者とする。なお、高校生については、選手の安全を第一とし、一般の試合に出場できるフィジカルとスキルを兼ね備えていることを条件とし、人数合わせのために参加させてはならない。また、本大会に出場する高校生選手は、期間中併催される高校生の試合へは出場出来ない。
- 本大会を通じて 同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。
- 既往症(内科的疾患も含む)がある場合は、前もって大会実行委員に医師の診断書を提出し、関係者が相談のうえ参加の可否を判断する。

11. 競技規則

(1) 2017年度版 World Rugby 競技規則にて実施する。

(2) 試合時間は、40分ハーフとし、ハーフタイムは10分以内とする。

尚、原則としてロスタイムはとらない。

(3) 試合当日の選手の登録は、23名以内とする。

- 各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性がある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。
- フロントローについては3名まで、その他の選手は5名まで入れ替える事ができる。

- フロントローリザーブが1～2名までしかいないチームは、23名まで登録することはできるが、入れ替える事のできるその他のプレーヤーは5名までである。

- (4) キックオフまでに15名揃わなかった場合、リザーブも含め、他のチームからの貸し借りは無しとする。1チームにつき15名より少ないプレーヤーによる試合を許可する。この場合、スクラムにおいて常に1チームにつき少なくとも5名のプレーヤーが参加しなければならないとする以外は、本競技規則がすべて適用されることとする。
- (5) 選手の入替及び交代は、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しMOまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。
- (6) マウスガードの着用を義務とする。
- (7) 19歳未満の選手はヘッドギアの着用を義務とする。

1 2. 競技方法

- (1) 試合人数：15人制
- (2) リーグ戦方式にて行い、勝点の多いチームから順に順位を決定する。
- (3) 順位の決定

試合終了毎に、勝点（勝ち：4点、引き分け：2点、負け：0点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点が高数の場合は、次の順序で順位を決定する

- ① 試合終了時に勝点が高数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。
- ② 得失点差が高数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。
- ③ トライ数が高数場合には、コンバージョン数の多いチームを上位とする。
- ④ 上記全てが高数場合には、抽選で順位を決めることとする。

(a) 不戦勝チームは勝ち点「4」、不戦敗チームは「0」とする。

(b) ボーナス点として以下の勝ち点を与える。

- ・ 負けても7点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。
- ・ 勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点「1」を追加。

1 3. アンコンテストスクラム

- 退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はアンコンテストスクラムにより続行される。
- レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいなく、または、安全上の理由で、アンコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。
- レフリーによりアンコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて続行される。
- また、その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。
- 適切に訓練された前列がいる以上は、試合開始前から戦術的にアンコンテストスクラムを選択する事はできない。

1 4. 選手登録

- 参加申込書を12月18日（月）までにメールにて提出すること。
- 原則として、出場選手は参加申込書提出の時点で登録済みの選手のみとする。
- 出場選手登録書式を各試合日程の48時間前までにメールにて提出すること。
- 出場選手の最終登録選手の変更は、当日朝の代表者会議までとする。
- 合同チームは、合同チームでまとめて申込みをすること。
- 申し込みの際に、合同チームは、チーム名を決めて申し込みをすること。

1 5. 外国籍選手の出場

- (1) 外国籍の選手は、平成29年6月末までに個人登録を行い、その後、継続的に日本に居住し、所属チーム部員として練習その他の活動をしていること。
- (2) 外国籍の選手が参加する場合は(公財)日本ラグビーフットボール協会「チームの登録等に関する規程」の「第4章外国人選手」にもとづいて、承認を受けた者に限る。
- (3) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けないが同時出場は2名までとする。
- (4) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登録と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (5) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。

1 6. 表彰

優勝チームを表彰する。

FWから1名、BKから1名 大会 MVP を選出する。

1 7. 試合当日の練習場所

- 基本的にはインゴールの外側で実施。
- アップシューズで20分間のみ、試合前にグラウンド内使用可。
- グラウンド内でのタックル、コンタクトプレーは不可。

1 8. プレマッチミーティングについて

- (1) 実施する時刻は、大会マニュアルに記す。
- (2) 参加者は、大会実行委員長、記録責任者、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
 - 出場登録選手の最終確認
 - 時計の同期
 - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
 - その他、競技運営に関する留意事項を確認